



年 組 番 名 前

教材名

学習のゴール

※単元名を児童にわかりやすい言葉で示します。

学習活動

日付



ポイント

児童が照らし合わせて記述する



今日の振り返り

本時のめあて



児童が照らし合わせて記述する

第一次において、学習のゴールにたどり着くために必要となる学習活動を児童とともに考えます。  
学習計画を立てることは、児童にとって既習事項の活用の仕方を考えること、学習の見通しをもつことにつながり、目的意識を明確にします。

【本時のめあて】  
児童の学習状況に応じて、本時の学習活動から重要な部分を取り上げて示したり、児童とともに考えたりします。  
本時で何を学ぶのか、児童にとって捉えやすいものになるよう、文末は「～しよう」で表します。

【振り返りのポイント・達成のポイント】  
評価規準に照らし合わせた概ね満足できる児童の姿のイメージを指導者がもち、「読むこと」は「振り返りのポイント」、「書くこと」は「達成のポイント」として、児童自身が意識して学習に臨めるように、具体的なわかりやすい表現で示します。  
(例)「読むこと」(振り返りのポイント)  
・・・どのように読んだか、何に着目したか  
「書くこと」(達成のポイント)  
・・・何をどの程度できたか

【今日の振り返り】  
毎時間、授業の終わりに、「本時のめあて」と「振り返り／達成のポイント」に照らし合わせて、「今日の振り返り」を記述します。  
分かったことやできるようになったこと、課題として残ったことを具体的に記し、学習過程での自身の理解や思考の状況を確認、学びを自覚します。



「学びの足あとシート」は、「学習活動」と「振り返り／達成のポイント」を書き入れてから、児童に配付し、活用します。(本研究ではA3サイズで使用)  
※児童とともに学習計画を立てる場合は、第二次以降から使用することになります。

☆学習したこと

※単元での習得事項を記します。

他領域や他単元の学習で、既習事項を活用できることを目指します。

児童が学んだことを確かめる

☆単元の振り返り

【単元の振り返り】  
単元全体を振り返って、児童が自身の学びを自覚し、これからの学びにつなげます。

